

要求仕様書

9 班

1 全体概要

1.1 システムの概要

室内の温度を取得し、その数値に応じて対応した楽曲を Spotify のプレイリストから再生する。ユーザは Google スプレッドシートから部屋の温度変化、再生しているプレイリストや曲の情報を知ることやその場に応じた様々な楽曲を聞くことができる。また、ユーザは再生されているプレイリストから好きな曲を選べ、自分のプレイリストに追加できる。

1.2 製品の機能

30 分ごとに Remo3 のセンサから室内の温度を取得し、Google スプレッドシートに記録する。温度をあらかじめ設定した数値と比較し、設定した範囲に応じて Spotify のプレイリストから対応した楽曲を再生する。取得した温度が 10 度以下である場合には冬のプレイリストを再生する。同様に、11 度以上 15 度以下である場合には秋、16 度以上 25 度以下である場合には春、26 度以上である場合には夏のプレイリストを再生する。再生しているプレイリストの曲はスプレッドシートからその情報を見ることができる。

また、スプレッドシートに番スプレッドシートに書いてある曲の中で、気になる曲があるとスプレッドシートに入力することで、自分のプレイリストに追加できる。

1.3 想定する利用者の特性

室内で音楽を聴きながら作業する人が主な対象である。多くの楽曲から一つの曲を選べず悩んでいる人や、大勢で集まった際に雰囲気に合わせて楽曲を自動で選択してほしいと考えている人にも有益なシステムであると考ええる。また、30 分ごとに情報が更新されるので、異なる雰囲気の楽曲を楽しみながら、場の空気の変化や様々な場面に対応した音楽再生システムを提供することができる。さらに、再生しているプレイリストから気に入る曲を選べ、自分だけのプレイリストを作成したい人も対象である。

2 詳細

2.1 機能要求

- ユーザは 30 分ごとに記録される室内の温度をスプレッドシート上で確認できること
- ユーザは再生されたプレイリストを確認することで、現在の室内の大まかな温度の確認ができること
- 再生しているプレイリストの情報はスプレッドシートから見られること
- ユーザはスプレッドシートに番号を入力することで、spotify のアプリのように音楽の再生、中止、曲の移動ができること
- ユーザは現在再生している曲の情報や曲調が確認できること
- ユーザはプレイリストの編集ができること

2.2 非機能要求

- プレイリストの編集はユーザの許可を取ってから行うこと
- Spotify が実行されていないときはシステムの起動ができないこと